

第4号議案 2026年度事業計画

1) 第69回定時総会

- ・ 2026年6月10日(水)に、第69回定時総会を開催する予定。対面会場を東京工業大学すずかけ台キャンパス すずかけ台大学会館として、ハイブリッド形式にて行う。

2) 出版関係

①日本画像学会誌

- ・ 2026年度分6冊を発行する。
- ・ 2025年度までと同様、全英文論文掲載のクラスタ論文誌を本年度も予定している。

②テキスト出版

- ・ 2026年度中の出版予定はない。

3) Imaging Conference JAPAN 2026 (第137回日本画像学会研究討論会)

- ・ ICJ2026 (Imaging Conference JAPAN 2026)を2026年6月10日(水)、11日(木)、12日(金)の3日間、東京科学大学 横浜キャンパス すずかけ台大学会館にて、対面とオンラインのハイブリッド形式にて開催する。
- ・ 昨年度ICJ2025に引き続き、学会各委員会で編成する実行委員会が企画・運営の主体となる方式で開催する。

(企画・運営：コンファレンス委員会)

4) Imaging Conference JAPAN 2026Fall

- ・ Imaging Conference JAPAN 2026 Fall (第138回日本画像学会研究討論会)を2026年秋にハイブリッド形式にて開催する。
- ・ この大会は、2014年度より続く画像関連学会連合会(*1)としての第12回目の秋季合同大会に相当する大会である。各学会の年次大会を併催し、相互に参加可能とすることで効果を上げてきている。2025年度は、各学会の年次大会でトラックを編成し、インタラクティブセッションは統合して実施した。2026年度もさらに魅力ある企画と運営の改善を行っていく予定である。

(企画・運営：関西委員会)

(*1)日本印刷学会、画像電子学会、日本写真学会、日本画像学会の4学会で構成

5) シンポジウム (年間2回)

- ・ 関東シンポジウム：2026年12月にハイブリッド形式にて、各技術部会による一年間の振り返りと、近年の技術トピックス紹介を主とした内容で開催する予定。

(企画・運営：企画委員会)

- ・ 関西シンポジウム：2026年5月26日(火)にハイブリッド形式にて I-site なんば(大阪市)にて開催する。

(企画・運営：関西委員会)

6) 技術講習会 (年間2回)

- ・ 第90回技術講習会：2026年7月6日(月)～7月10日(金)に、ハイブリッド形式にて開催する予定。

(企画・運営：事業委員会)

- ・ 秋・技術講習会「チュートリアル 2026」：2026年11～12月初旬に、会場参加のみの対面形式にて開催する予定。

(企画・運営：事業委員会)

7) フリートーキング “Imaging Today” (年間1回)

- ・ 学会誌の特集 “Imaging Today” の中からテーマを取上げ、解説の執筆者を講師として、気軽なトーキングの会を2026年度中に1回開催予定。

第46回フリートーキング：2027年1月開催予定、テーマ企画中。

- ・ ICJ2026 の中で Imaging Today 特別セッションを開催する。6月12日(木)に「最新の画像処理技術」をテーマとして3件の講演を企画している。

(企画・運営：編集委員会)

8) 技術研究会

- ・ 技術委員会の部会ごとに下記の通り、研究会等を開催予定である。

画像感性部会セミナー/勉強会

インクジェット技術研究会

トナー技術研究会

電子ペーパー研究会

サーマル記録技術研究会

電子写真技術研究会

MBD 技術研究会

デジタルファブリケーション技術研究会 (再稼働)

9) イメージング NEXT

- ・ 2024年11月に、新しい形「イメージング NEXT」として技術者たちの交流の場として生まれ変わった。本企画は、未来を切り拓く知見や視点を共有し合い、組織を越えたつながりの力で成長を目指す、新しい学びと交流の場となりつつある。
- ・ 2025年度は、第2回イメージング NEXT は法政大学の岡本慶子先生をお招きした対談形式での講演、第3回はグリサンの上林昭氏による新価値創出ワークショップ、第4回は東京科学大学の飯野裕明先生研究室訪問として開催した。第5回以降も順次企画する。

- ・ 参加資格：どなたでも参加可
- ・ 参加費（通常企画）：個人会員（維持会員含まず） 1,000 円、個人会員以外 2,000 円

1 0) 関連学会との交流

- ・ 米国画像学会 IS&T が主催する国際会議 Advances in Printing Technology (APT) について、次回開催 (2027 年) に向けて ISJ の役割を検討する。またこれまでの Printing for Fabrication に代わる一般発表が可能な国際会議の開催を検討していく。
- ・ 国際交流委員会が中心となり、これに画像関連学会連合会の助力を加えて、中国、韓国、アジアパシフィック地域の画像関連学会とで年次大会等への講師・参加者の相互参加、学会誌への相互の活動状況紹介等によりイメージング材料と技術に関する交流を継続する。
- ・ 画像感性部会を中心として、日本視覚学会と合同セミナー「視覚と画像の基礎講座（全 4 回）」の開催を継続して連携を深める。

1 1) 「複写機遺産」認定事業

- ・ 2018 年度に、学会創立 60 周年と電子写真技術生誕 80 周年を記念して制定した「複写機遺産」認定事業を、2026 年度も継続して実施する予定である。2026 年度は、第 5 回複写機遺産認定機種を 6 月 8 日に発表、6 月 10 日、ICJ2026 において認定証授与式および認定記念講演を行い、8 月に第 6 回複写機遺産の募集を開始する予定である。

1 2) 4DFF 研究会

- ・ 4DFF 研究会の取り組みとして、第 9 回目となるコンファレンス 4DFF2026 を東京科学大学横浜キャンパスで、2026 年 11 月 5 日(木)～6 日(金)に開催する。今年は口頭発表の数を Extended Abstract により 30 件程度に絞る予定。8 月には論文誌（電子ジャーナル）第 5 号を発行予定。

2026年度収支予算案

2026年 4月 1日から2027年 3月31日まで

一般社団法人 日本画像学会

(単位：円)

科 目	2026年度予算額	2025年度予算額	2025年度決算額
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
特定資産運用収入	0	0	5,674
会費収入	15,530,000	16,410,000	16,645,860
正会員会費収入	4,500,000	4,480,000	4,285,668
維持会員会費収入	10,630,000	11,300,000	11,911,840
4 D F F会費収	400,000	630,000	448,352
事業収入	12,550,000	10,770,000	17,053,332
研討・研究会参加費	5,900,000	6,200,000	5,912,500
講習会参加費	3,000,000	1,820,000	3,069,500
試験標準品頒布収入	600,000	600,000	5,561,200
予稿集・技術資料頒布収入	50,000	30,000	99,515
出版物頒布収入	200,000	20,000	219,851
会誌購読・B N頒布収入	600,000	700,000	671,516
広告収入	800,000	100,000	810,000
雑収入	0	100,000	0
4 D F F研究会収入	1,400,000	600,000	709,250
受取利息収入	0	0	44,697
その他の事業活動収入	40,000	0	52,921
その他の事業活動収入	40,000	0	52,921
事業活動収入計	28,120,000	27,180,000	33,802,484
2. 事業活動支出			
事業費支出	17,860,000	15,530,000	21,460,109
会誌発行費	7,700,000	7,000,000	7,820,181
研討・研究会開催費	3,550,000	2,980,000	3,639,301
講習会開催費	1,000,000	1,200,000	1,062,195
試験標準品作製費	500,000	320,000	3,951,200
デジタル化費	600,000	600,000	526,514
学会賞費	700,000	400,000	707,487
諸委員会費	700,000	800,000	827,772
理事会・評議員会・総会費	1,450,000	950,000	1,541,313
国際交流支出	300,000	330,000	100,000
4 D F F研究会支出	900,000	950,000	974,139
広告宣伝費	460,000	0	310,007
管理費支出	12,610,000	11,580,000	13,118,921
通信運搬費	450,000	400,000	436,941
事務費	1,600,000	1,600,000	1,870,498
事務員費	10,200,000	9,300,000	10,466,832
事務機械化費	50,000	100,000	145,040
雑費	100,000	100,000	66,710
租税公課	150,000	20,000	73,400
管理諸費	60,000	60,000	59,500
退職給付費用	0	0	0
法人税等支出	70,000	70,000	70,000
その他の事業活動支出	0	0	5,777
事業活動支出計	30,540,000	27,180,000	34,654,807
事業活動収支差額	△ 2,420,000	0	△ 852,323
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出			
当期収支差額	△ 2,420,000	0	△ 852,323
前期繰越収支差額	31,938,321	32,790,644	32,790,644
次期繰越収支差額	29,518,321	32,790,644	31,938,321